

すべり転倒事故防止技術と商品開発

靴底 / 床面・路面の材料から歩き方まで、すべり防止のノウハウを科学的に徹底検証し、商品開発の事例も紹介

日時
2017年 12月13日 (水)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申してください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要・POINT

屋内外の転倒事故は高齢化もあいまって年々増加しています。労働災害事故の主要な要因として転倒が挙げられており、日常生活から労働環境にいたるまで、転倒事故の防止が叫ばれています。

本セミナーでは、特に“すべりによる転倒事故”の防止を目指した研究開発事例を紹介いたします。動作解析研究に基づくすべりにくい歩行方法のポイントや濡れたところでも高い摩擦を示す表面意匠の設計ポイントや産学連携による超耐滑素材、意匠の開発と実用化事例などを解説します。

豊富な図解やビデオによりわかりやすく解説します。
建材や床材、ゴム材メーカーの方など多くの業種の方のご参加を歓迎します。

講師 東北大学大学院 工学研究科、医工学研究科
准教授 博士(工学) 山口 健氏

Study and Learning

- ・屋内外における転倒事故
- ・歩行中の靴底/床面間のすべり発生条件
- ・すべりにくい歩行方法
- ・すべり転倒防止のために求められる靴底と床面間の静摩擦係数と動摩擦係数の値
- ・耐滑靴底材料及び意匠の開発事例
- ・RBセラミック粒子を配合したゴム材料の開発と実用化事例
- ・粗面と平滑面を組み合わせた複合ゴムブロックを用いた超耐滑靴底意匠の開発と実用化
- ・油を塗った斜面や濡れた氷の上でもすべりにくい超耐滑靴底意匠の開発
- ・靴底と床面間の耐滑性評価試験システム

質疑応答

【事前アンケートのご質問を絞り込んで解説導致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承願います

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 すべり転倒事故防止技術と商品開発

セミナーコード

1101-171213

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/12/13 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			通信欄	
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				